

市町村立図書館等活動支援誌



あけぼのつうしん

No.78



〔目次〕

■ 特別寄稿「私の講師体験記」

- 石狩市民図書館 主任 吉岡律子 1
- 栗山町図書館 司書統括 野澤香 2

■ 注目！ notable case ～道内図書館（室）トピックス～

- ニセコ町学習交流センターあそぶっく 図書館に！ 4
- 滝川市立図書館
Library of the Year 2021 ライブラリアンシップ賞受賞 6
- 八雲町立図書館 クリスマスツリー 20th Anniversary 7
- 第75回「読書週間」の開催行事より 8

■ 道内図書館キャラクター紹介！ Vol.1 12

■ 令和3年度全道図書館専門研修報告

- サービス（地域資料）／ 経営（企画・広報） 13

■ 市町村活動支援事業アンケート報告（概要） 15

■ お知らせ

- (1) 令和4年度（2022年度）大会・研修会等情報 18
- (2) 2021年秋 読書週間の主な講師等一覧 19
- (3) 北図振・調査研究チーム始動！ 21
- (4) 令和4年度（2022年度）市町村活動支援事業について 21

北海道立図書館



北海道図書館振興協議会・道立図書館が毎年開催している各研修会は、道内市町村立図書館（室）の皆さんに、講師としてもご協力をいただいています。ともに道内の図書館で働く先輩・仲間として、これまでの経験や業務の様子などを生の声で届けていただくなかで、実践に基づくアドバイスや研修テーマにそって紹介される多くの事例が、参加者にとって身近なお手本となっています。

今号では、今年度の新任職員研修と専門研修で講師を務めていただいたお二人に、特別にご寄稿いただきました。講師という立場で参加する研修会とはどんなものだったか。「次は私が！我がまちが！」という声を期待しながら、お二人のメッセージをお届けします。

～9月16日 全道図書館新任職員研修会～

初めてのチャレンジ、大きな収穫

石狩市民図書館 主任 吉岡 律子

全道図書館新任職員研修会（以下、「研修会」と記す）講師の依頼、講義のコマは「カウンター業務」。その話を聞いた瞬間、「えー！」と大きな声を出してしまいました。何せ講師なんて一度も経験したことがなく、講師を務めるなんて考えたこともなかったからです。一瞬にして頭の中をたくさんの考えが駆け巡ります。どうして私？ 出来るかな？ 断わろうかな？ でも、せっかくの機会だから…。数日考えた結果、お声掛けいただけたのは『きっと自分に期待をしてくれているから』と前向きに捉え、チャレンジしようと覚悟を決めたのでした。

けれども、講師を引き受けるに当たっての問題は大きく二つ。「分かりやすい講義資料を作るか」、「最後まで飽きさせない話し方ができるか」でした。

アナログな私は、ポスターを作るにしても資料を作るにしても、まずはイメージを紙にひたすら書き出して、そこから組み立てやデザインを決めていきます。今回の講義資料も同様の手順でスライド（パワーポイント）に入力していきました。「話し方」の不安は、図書館に所蔵していた「人前で話す時に参考になる本」を読み漁り、ポイントをノートに書き留め、



それを参考にイメトレを何度か繰り返しました。講義資料は、テーマを『あなたも図書館の顔！カウンターのお仕事』と決め、上司や道立図書館の方にもチェックしていただきひとまずクリア。けれど、実際のプレゼンは…。



皆さん、ご記憶のとおり今年度の研修会は当初対面での開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で期日が延期され、リモート（リアルタイム）の開催となりました。人前での講師の経験もない上、Web会議システムを使って…、とハードルがひとつ増

えてしまったのです。当日の配信は自館で対応することも出来たのですが、不安を少しでも解消しようと事務局である道立図書館で行うことにしました。事前の配信テストにも道立図書館に伺い、話し方についても、細かな助言をいただきました。

その結果どうだったか…。慣れない環境にしっかり緊張した私は、途中で若干息が吸えなくなり、ちょっとした沈黙を作ってしまった。でも幸いなことに、参加者のみなさんが本当に優しく、画面上で頷いてくれているのが見え、それが救いとなりなんとか最後まで話せました。

講師として人前で話すということは、テーマに関して自分自身がしっかり理解していなくてはなりません。そのため、これまで漠然と理解していたことを“人に伝えるための言葉”で説明できるようにする作業が、自分にとって大きな収穫になったと感じました。そして人前で長時間話すという体験自体も良い経験になりました。

研修後も道立図書館の方からアドバイスを受けることが出来ましたし、うまくできなかったことも含めてちょっとだけ成長できたと思うのです。良い機会をいただけたこと、大変感謝しています。



「多様な利用者への対応」の一場面
画面越しでしたが、講師と参加者でコミュニケーションを取りながら進行了ました。

～11月12日 全道図書館専門研修（経営（企画・広報））～

経験を糧に、進め図書館道

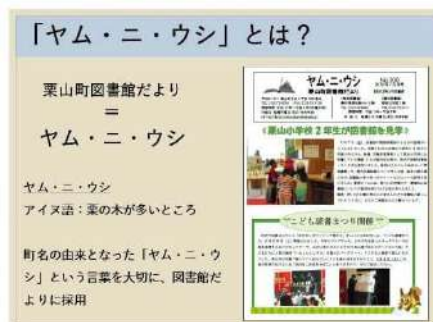
栗山町図書館 司書統括 野澤 香

きっかけは一昨年夏、道立図書館企画支援課長の宮本さんからの電話でした。当館の図書館広報誌が他館と一風変わっているところを褒めていただき、良ければその取組内容を全道研修で話しませんか？と一言。最初はお褒めの言葉に内心ほくそ笑んでいましたが、「全道」「研修」「講師」の一言一言に震え上がり、そんな自分なんて・・・とお断りさせていただきました。しかしその後も広報誌の良さを懇切丁寧に説明してくださり、こんな広報誌でも一つの参考事例になれば、という思いから講師の受諾を決意しました。

早速発表スライドの作成。その前に改めて自館の取り組みを俯瞰で見直してみると、これは良い！これはうーん、これはちょっとどうなんだ！？と、たくさんの発見があり、自分たちの仕事を見つめ直すきっかけとなり、引き受けて良かったなとじわじわと実感してきました。

それからは、苦手な発表練習に苦戦する日々でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止措置による研修の中止が決まりました。残念の気持ちが大きく、意外と発表に乗り気だったのか、と自分の気持ちにも驚きでした。

翌年、道立図書館から「昨年中止となった研修を同じ内容で開催したいので、講師を引き受けていただけない



か」と再度依頼があり、気持ちを新たに引き受けました。

1年間の期間を経て、しかも対面で研修を開催すると連絡をいただいてからは、嬉しい気持ち半分、緊張半分、とにかく必死で準備を重ねていました。

そんな緊張の中、とうとう当日を迎えました。広い会場とたくさんの方々に圧倒されましたが、とにかく自分たちの取り組みの良いところも悪いところも飾らずに伝えようという一心で臨みました。参加されている方々の様子は、頷かれたり疑問を持った表情を浮かべていたりとたくさんの反応があったことを覚えています。聞いてもらえている安心感を持ったと同時に、事例に対する率直な評価をいただけた気がして、話しながらこちらも学ばせていただき身が引き締まる思いでした。また、私たちが広報で大切にしていることや想いを多くの方が書き留めてくださっている様子を見て、拙いなりにきちんと届けられることができほっとしました。



結果・・・1年間も準備期間があったにもかかわらず相変わらずの話下手でお聞き苦しい1時間となってしまいましたが、なんとか自館の広報の取り組みをお話しさせていただきました。成果だけでなく課題もお話しすることができて良かったです。質問もたくさんいただいて（ちゃんとお答えできていたか不安ですが・・・）、全道各地それぞれの図書館で皆さん同じ思いで悩み頑張っているのだと、勝手に同志のような気持ちを感じました。事後アンケートでは、「情報量が多いのに、わかりやすくまとめられていて、声も話し方も穏やかで大変聞きやすかった。」「町民の声を形にする行動力がすばらしいと思った。」との評価もいただき、大変嬉しく思っています。

いつも参加者として聴講していた研修会に、まさか自分が発表者側で参加するとは思いませんでした。今でも人前で話したり物を書くことは苦手ですが、視点が違うと見える視界が変わり、新しい発見や気持ちに出会えることが新鮮でした。この経験を自信に変えられるように、これからは歩幅を大きく「図書館道」を極めていきます。きっかけをくださった宮本さん、事務局としてサポートしてくださった足立さん、そして参加してくださった皆さん、どうもありがとうございました！



■注目！ notable case ～道内図書館（室）トピックス～

今号では、まさに「継続は力なり！」を体現している図書館を3つご紹介します。また、コロナ禍2年目となった読書週間の取組にもご注目ください。



Case1

寄稿 あそぶっく 事務局長 小坂みゆき

ニセコ町学習交流センターあそぶっく 図書館に！ ～ 9月に条例改正 道内市町村で106番目～

図書館法

第十条 公立図書館の設置に関する事項は、当該図書館を設置する地方公共団体の条例で定めなければならない。

図書館同種施設として2003年に開館した「町民学習交流センター あそぶっく」は、2021年9月14日に制定された図書館設置条例で正式に図書館になりました。開館から約19年の歳月を経てのことです。

当施設はニセコ町の管理のもと、指定管理者である「NPO法人あそぶっくの会」が委託を受け運営をしています。その前身は、1964年に設置された公民館の小さな図書室（本棚）でした。そこで、自発的に読み聞かせや図書整理をおこなっていた地域のボランティアの方々が、1996年に2つのボランティアグループ（図書アジャストクラブ、本の読み聞かせの会）を立ち上げ、町に図書館をつかってほしいと要請しつづけた結果、2003年に図書館同種施設として「ニセコ町学習交流センター」が誕生しました。当時から図書館としてスタートしたいという思いを持っておりましたが、それは叶いませんでした。

運営を任された地域の方々は、独学で図書館について学び、北海道立図書館や近隣図書館のサポートを受け軌道に乗せることを可能としました。その後、維持させるための努力を積み重ねていきましたが、軌道にのりはじめると日々の作業に追われ、施設を更に図書館にするための動きが少しずつ薄れていきました。町の条例を制定して図書館とすることへのメリットがぼんやりとしてしまったのです。また、指定管理者制度の問題点である更なる専門性へのこだわりの低下や、図書館リテラシーの低下は避けられず、なかなか図書館へのステップアップに繋がりませんでした。

そこから抜け出すきっかけとなったのは、司書、司書補が誕生したことでした。司書がいるいないを施設の良し悪しの判断にすることはできませんが、専門性を意識するようになるとともに外部の見方が変わり、図書館にしたいという説得力にもつながったと思います。また、具体例としては施設内でコピーができないこと、映像資料の貸出しができないこと等、誰もが平等に利用できる施設としては不十分ではないかという疑問も、図書館への変更を進める一因となりました。



■注目！ notable case

図書館同種施設と図書館、一見そう違いはないように見えますが、目の不自由な方から音源資料の貸出しを求められた時、小学生の児童が調べものをしているなかで、事典（禁帯）の一部コピーに応えられなかった時、図書館では当たり前利用できるサービスをここでは受けることができない、地域による社会教育環境に格差が生じているのではないかという点も、図書館への大きな一歩となりました。

図書館になったことが少しずつみなさんの耳にはいり、設立から見守ってくださっていた方、当時ボランティアとして尽力された方（なかにはニセコ町から離れた人も少なくありません）から歓喜のメッセージが届いています。町内の方々も「良かったね！おめでとう！嬉しかった！」と声をかけてくださり、みなさんに支えられていることを実感しました。

現在は、ニセコ町郷土資料の収集、保管、展示と学校教育支援の充実を目標に精進しています。今後も途絶えることなく一歩ずつ進化していきたいと願っています。



【道立図書館から】

ニセコ町の条例により、道内で公立図書館を設置する自治体は 106 となりました（144 町村のうち 71 番目）。北海道の 59.2%という図書館設置率は、全国の 77.0%※と比較するとまだまだ低いと言わざるを得ません。

ニセコ町の方々の熱い思いに支えられて、また1つ、新しい「図書館」でのサービスが始まりました。次はあなたの町、あなたの村の番です！

※『日本の図書館 2020 統計と名簿』（日本図書館協会、2021）から



滝川市立 図書館

Library of the Year2021

ライブラリアンシップ賞受賞



この度、滝川市立図書館は、Library of the Year2021（NPO 知的イニシアティブ主催）において、「ライブラリアンシップ賞」を賜りました。今回の受賞は、長期的に様々な機関や地域の皆さんと相互に支え合ってきたことをご評価いただきました。

当館が市役所庁舎に移転をして10年が経過しました。開館当初から、庁舎内という地の利を生かした行政連携や、移転時に社会資本整備総合交付金を活用したことから、中心市街地に足を運んでいただくための施策に取り組んで参りました。

行政連携では、パブリックコメントや行政情報コーナーの設置、議会図書室の図書館内への移転のほか、多数の連携展示や事業を行っています。行政と市民を結ぶツールを図書館が担うことで、市役所が身近な場所となり行政サービスの向上が図られてきたことを実感しています。中心市街地の回遊率を上げるために取り組んできた**まちなかコンシェルジュ**では、100件を超えるお店や団体にご協力をいただき、紹介ポスターと関連本を展示することで、市民のくらしに役立つ情報を発信し、まちなかへ足を運んでいただくよう取り組んでいます。**雑誌ささえ隊**では、企業や団体・個人に購入雑誌117誌のうち64誌をご支援いただいています。隊員を発掘してくださる応援団長を買って出てくださいる方もいて、大変心強い味方となってきています。また、地域の皆さんや連携先からのご寄付やご協賛など、さまざまなお支援をいただいています。

この度の受賞にあたって、沢山の皆さんが自分のことのように一緒に喜んでくださって、これまで関わっていただいた皆さんと共にいただいた賞だと改めて心より感謝をしております。Library of the Yearでは、一昨年の大賞・オーディエンス賞・優秀賞受賞の「札幌市図書・情報館」さん、昨年のライブラリアンシップ賞受賞の「北海道ブックシェアリング」さんに続く受賞で、3年連続北海道から受賞機関が生まれたことは大変嬉しいことです。広大な地域ではありますが、互いにささえ合い、切磋琢磨して、北海道全体が元気になる読書活動が今後も各地で進められたらと願います。

当館も、まちを元気にするために私達は何ができるかを常に考え、地域に愛され、共に歩む図書館を目指して前に進んでいけるよう頑張ります。

Case3

八雲町立図書館 クリスマスツリー 20th Anniversary

八雲町立図書館ロビーに、大きなクリスマスツリーがお目見えしました。2002年から毎年クリスマスシーズンに飾られ、今年度は20回目のアニバーサリー・イヤーでした。

八雲町内の林業関係者のご厚意により、約3メートルの木を町内の山林から伐採。例年12月上旬に、図書館に設置していただいているそうです。山にある自然の木ですので、ちょうど良い大きさのものを調達するのに時間がかかることもあるそうですが、今年度も12月16日に図書館に届けられました。

飾り付けは図書館職員で担当し、来館者に励まされながら脚立を上り下りすること3時間。写真のような立派なクリスマスツリーが完成しました。子どもたちが大喜びなことは言うまでもありませんが、大人たちもつい見入ってしまう風物詩となっています。



ロビー全景

2022年もよろしく

“とら年生まれ”の筆者の本を集めて展示。新しい出会いがありそう！



児童コーナー

壁や窓もステキ♥



※クリスマス後、ツリーは林業関係者が引き取り、有効活用されているそうです。

Case4

第75回「読書週間」の開催行事より

10月27日～11月9日の期間は「2021・第75回読書週間」でした。今年の読書週間の期間はワクチン接種が進み、ちょうど新型コロナウイルスの感染者数が減少傾向にある時期であったため、約2年ぶりにイベントが開催できたという図書館・図書室も多かったのではないのでしょうか。

(公財)読書推進運動協議会の行事調査で、北海道読書推進運動協議会(事務局：企画支援課)がとりまとめた取組から、ピックアップしてご紹介します。【順不同】

(1) いつもとちがう展示にワクワクしてほしい

- 浦幌町立図書館 「時間を忘れるほど夢中になる本展」
- 由仁町ゆめっく館 「秋の絵本展 てがみってうれしいね」
- 伊達市立図書館 「本の森」
- 訓子府町図書館 「読書感想画作品展示」



浦幌町立図書館 読書週間企画展示
「時間を忘れるほど夢中になる本展」

今年度の読書週間の標語「最後の頁を閉じた 違う私が出た」からイメージを膨らませ、司書がこれまで読んできた中で思わず夢中になった本を紹介する展示を行いました。



由仁町ゆめっく館
「秋の絵本展 てがみってうれしいね」

「手紙」をテーマにした絵本や児童書を展示貸出したほか、館内に隠されたポストをみつけて指令を達成するとレターセットが貰えるイベントや、手紙を書くことの出来るコーナーも設置しました。



■注目！ notable case



伊達市立図書館「本の森」

図書館の一室を森に見立てて、普段公開していない大型絵本、テーマを決めて選んだ本を展示しました。今回は「なかま」「てんき」がテーマの図書を選んで並べています。

この会場で市内の読書ボランティア団体によるおはなし会も開催しました。



訓子府町図書館「読書感想画作品展示」

訓子府町児童・生徒読書感想コンクール内での読書感想画部門における奨励賞受賞作品を館内に展示しました。児童による感想画がどの図書の感想を表現しているのかを合わせて楽しむことができます。

(2) ゲーム性の高いイベントで図書館に“ハマって”ほしい！

- 斜里町立図書館 「サイコロで挑戦！雑誌プレゼント企画」
- 滝川市立図書館 「読書フェスティバル 2021
図書館からの挑戦状 ～きえたようくんをさがせ！～」
- 東川町せんとぴゅあIIほんの森 「ほんの森ビンゴ」



斜里町立図書館

「サイコロで挑戦！雑誌プレゼント企画」

期間中に資料を借りた利用者を対象に、タブレット端末で10面のサイコロ（GoogleのWEBダイス）を振ってもらい、その日に借りた資料のバーコード末尾の数字と同じ数字が出た場合、保存期限の切れた除籍雑誌を1セット（2～3冊）プレゼントしました。

図書をたくさん借りれば借りるほど当たる確率が上がる仕組みになっており、期間内に借りた資料の貸出レシートを3枚集めてカウンターに持ってきていただくと好きな雑誌が1セット貰えるというWチャンスも設けました。





滝川市立図書館

読書フェスティバル 2021 「図書館からの挑戦状～きえたようくんをさがせ！～」



「ももたろうの絵本はどこにあるか」など、図書館にまつわる問題に答えながら館内の各書架に設置されたひらがなを集め、滝川市立図書館のオリジナルキャラクター「ようくん」が隠れている場所を見つけるゲームを開催しました。



問題には初級編、中級編、上級編、鬼級編の4種類の難易度を設定し、「ようくん」をみつけたあと、各書架から興味のある本を集めた子どもには難易度に応じてオリジナルステッカーやストラップをプレゼントしました。



東川町せんとぴゅあIIほんの森 「ほんの森ビンゴ」

カウンターでビンゴカードを受け取り、マスに書かれたキーワードにそって本を借り、返却時にスタンプをもらうかたちでビンゴに挑戦してもらいます。



1列ビンゴでポケットティッシュ、2列で缶バッジ、3列でトートバッグなどの景品を先着100名まで用意しました。

(3) コロナ禍だからこそそのイベントを楽しんでほしい

●市立土別図書館 「ブックカバー風マスクケース作り」



市立土別図書館

「ブックカバー風マスクケース作り」

クリアファイルを使って、オリジナルのブックカバー風マスクケースを作るとい、コロナ禍の図書館ならではの工作体験会を行いました。



おまけ

ハロウィン×読書週間？！



10/27～11/9という読書週間の時期は、ちょうど10月31日のハロウィンと重なります。そのため、この時期には多くの図書館・図書室で仮装、おばけやかぼちゃの装飾、こわい絵本の展示、読み聞かせなど、ハロウィンの要素をとり入れたさまざまなイベントが行われています。その一部を紹介します。



- ・ 工作 おりがみでカボチャを作ろう！
(芦別市立図書館)
- ・ 図書館職員による仮装 (栗山町図書館)
- ・ ハッピーハロウィン仮装おはなし会
(恵庭市立図書館)
- ・ 英語読み聞かせ会「ハッピーハロウィン」
(市立土別図書館)
- ・ ハロウィンおはなし会&ハロウィンリース工作
(和寒町立図書館)
- ・ ハロウィンマスクの工作 (池田町立図書館)



栗山町図書館



市立土別図書館

などなど・・・他にもたくさん！



池田町立図書館



道内図書館キャラクター紹介！

Vol.1

HP や SNS での広報活動のほか、オリジナルグッズの作成などにも力を発揮する図書館キャラクター。道内各地域で活躍中の、個性豊かなキャラクターたちを紹介します！（説明文は各図書館 HP から引用しています）



ほんま

本馬くん 新ひだか町図書館



サラブレッド

・牡（オス）・鹿毛（かげ）・年齢は???

生まれた町：新ひだか町

好きなこと：本を読むこと おさんぽ

好きな本：「元競走馬のオレっち」

チャームポイント：

額の星がサクラなんだ♪

ブラリー 旭川市中央図書館



命名理由：「図書館は英語で「ライブラリー」というので、そこから「ブラリー」とつけました。色々な人が「ぶらり（ブラリ）」と行きたくなる図書館になったらいいなと思いました。」（キャラクターデザインは絵本作家の堀川真さん、命名者は市内の小学生です。）

ヨムチャン 函館市中央図書館



函館市中央図書館のマスコットマーク、多数の公募の結果「ヨムチャン」（今井憲一さんの作品）となりました。

頭部は本の頁がパラパラ開いたところ、顔は図書館の「図」の文字、口は三角形の敷地をデザインしたものです。

斜里ほん太 斜里町立図書館



ほん太は小学校1年生のヒグマの男の子。本を読むことと生き物や植物のことを調べること、絵をかくことが好きで、見つけた動物のことを調べるためによく図書館で本を読んでいます。
好きな食べ物はこくわの実。

道内の「図書館キャラクター」情報をぜひお寄せください。自薦・他薦問わず大募集中です！

求む！図書館キャラクター情報

令和3年度全道図書館専門研修報告

今年度は「北海道スタイル」に沿った感染症対策にご協力いただき、4回の専門研修をすべて予定の会場で開催することができました。

どの研修も、参加人数を会場定員の50%以下としたこと、遠方への出張を自粛された市町村があったことなどから、参加が叶わなかった方がいらっしゃいました。一部の研修については、講師の皆様の了承を得て、図書館ポータルで当日の資料を公開しています。ぜひご活用ください（詳細は記事の最後をご覧ください）。

サービス（地域資料）

10月14日 八雲町公民館

■講演「地域の歴史を身近に～埋蔵文化財を活用した体験学習による『私たちの文化財』」

講師：北海道埋蔵文化財センター主査 坂本 尚史 様

埋文センターが行ってきた“埋蔵文化財を活用した学習プログラム”や様似町での施設連携プログラムの取組等を紹介していただきました。

【埋文センターのプログラム】出前講座や展示もあります！

- ①「遺跡地図を作ろう」地元の遺跡を知る
- ②「遺跡探検をしよう」遺跡を歩く
- ③「縄文人に挑戦」モノづくりを通して知る・考える
- ④「考古学教室 科捜研の子ども」

考古学シミュレーション

- ⑤「絵本でめぐる大昔のどうぐたち」展示と絵本を融合



■講義「明日からはじめる地域資料のSHK」

講師：道立図書館企画支援課長 宮本 浩

収集・保存・活用について、事例を紹介しながら説明しました。

そのほか、グループワークとして参加者の情報交換も行いました。



経営（企画・広報）

11月12日 名寄市 駅前交流プラザ「よろーな」

■講義「魅力的なチラシ、ポスターの（なるべくラクする）作り方」

講師：株式会社佐藤デザイン室 取締役 佐藤 裕子 様

札幌市内で道内企業・店舗のロゴデザイン、アイテムや発行物のデザインをされている佐藤様に、「伝えたいことをちゃんと伝える」ためのデザイン・書体・色などについて、具体的に講義していただきました。また、カラーカードを使った演習（配色トレーニング）も行い、色の効果を確認しました。



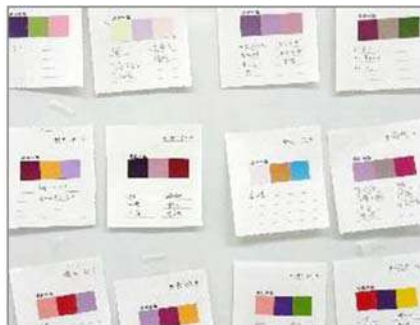
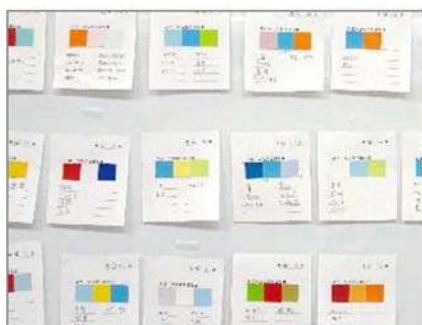
【イメージ配色トレーニング

～130色のカラーカードを使って、以下の言葉からイメージされる配色を作ってください～】

① スポーツ文学を読む会

② 源氏物語

③ 夏目漱石



■事例紹介「図書館情報を“あなた”に ヤム・ニ・ウシ流情報発信」

講師：栗山町図書館 司書統括 野澤 香 様

個性的な“図書館だより”のコンセプトを中心に、栗山町図書館における広報活動について、様々な媒体を活用した事例を具体的に紹介していただきました。

今号の「私の講師体験記」にご寄稿いただきました。
ぜひご覧ください。

■講義・事例紹介「新たな利用者の獲得へ！ 視点を変えてひと工夫」

講師：道立図書館企画支援課長 宮本 浩

「図書館だより／市町村広報」、「チラシ・ポスター」、「掲示物／案内表示」、「配布物／事業・イベント」、「ホームページ」、「オリジナルキャラクター」について、図書館の事例を紹介しながら、利用者目線に立った広報活動の姿勢について講義しました。



私だけのオンライン研修！

図書館ポータルで研修会の資料が見られます

今回紹介した2つの専門研修のほか、道立図書館や北海道図書館振興協議会が主催した過去の研修や会議の資料・成果物、各管内での研修会の資料等の一部は図書館ポータルで公開しています。業務の都合にあわせ、いつでもご覧いただくことができます。情報収集&スキルアップにお役立てください。

■◆■ ここをチェック！！◆■

- ① 図書館ポータル>研修>01_図書館職員のスキルアップ(研修会、会議等資料)
- ② 図書館ポータル>情報共有ファイル>11団体>北海道図書館振興協議会>地方研究集会



■市町村活動支援事業アンケート調査報告

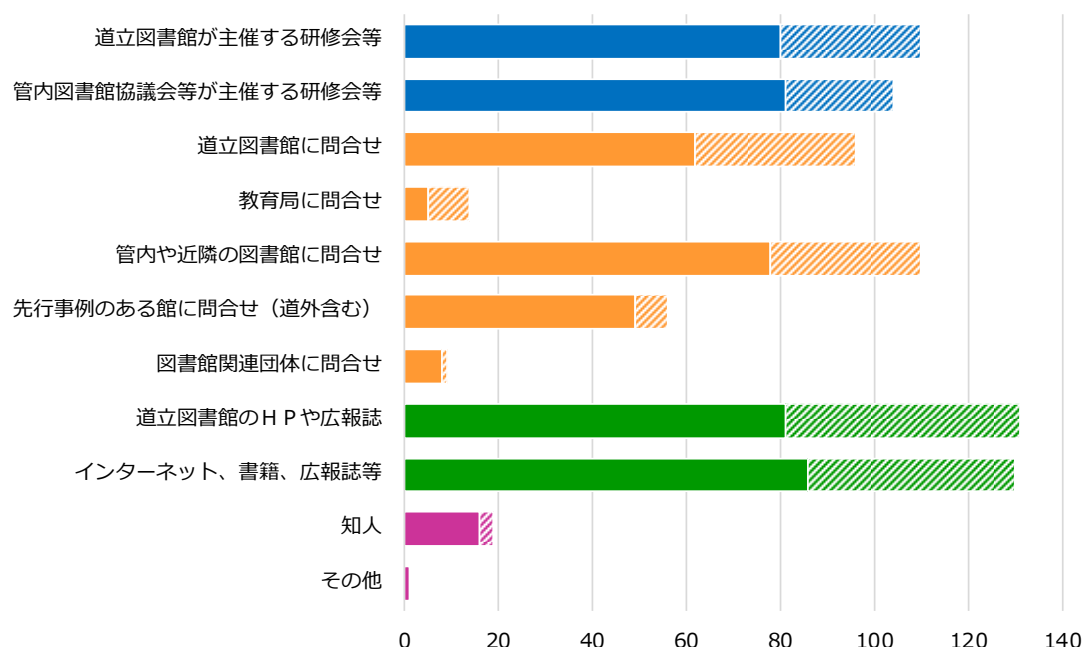
市町村活動支援事業アンケートに、ご協力ありがとうございました。市町村図書館（室）のみなさんにご回答いただいた調査結果の概要をご紹介します。

令和3年度（2021年度）市町村活動支援事業アンケート調査報告 【概要版】

- ・照会日 令和3年（2021年）12月1日（回答期限 令和3年12月17日）
- ・照会方法 メールで送付、ウェブフォーム、メール又はファクシミリで回収
- ・調査対象 道内178市町村（札幌市を除く） ※うち図書館設置市町村105
- ・回答数 177（回収率99.4%）

1 図書館活動に関する情報収集の方法

【グラフ1】情報収集の方法（複数回答可） ※斜線は図書館未設置市町村の回答分



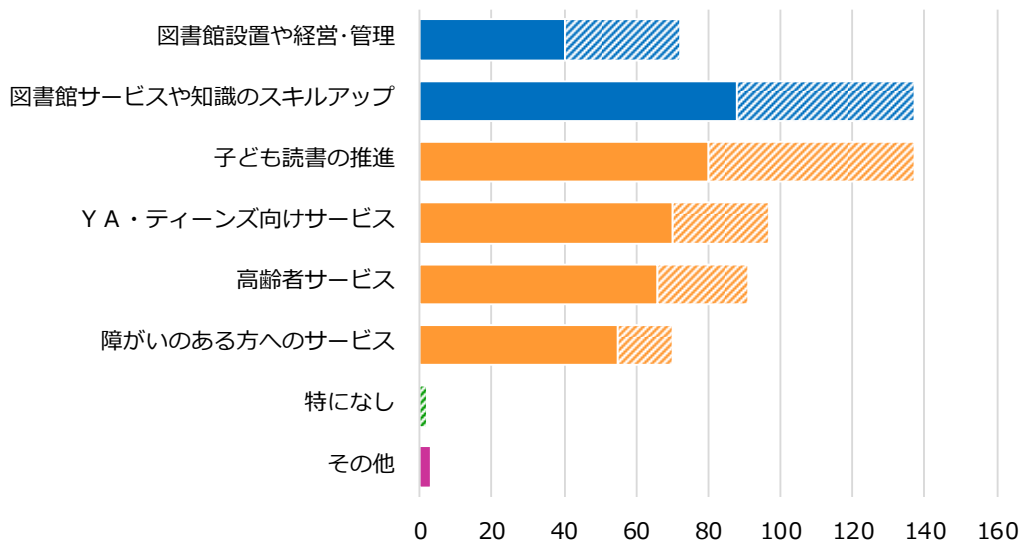
図書館活動に関する情報を、普段どんな手段で入手しているかを尋ねたところ、道立図書館ホームページを含むインターネット（ウェブサイト）や書籍・広報誌等が最も多い回答となりました。当館ホームページや図書館ポータル、広報誌『あけぼのつうしん』等を活用し、市町村立図書館（室）への情報提供や各種案内等を継続していきます。各市町村での取組についても、ぜひ積極的に道立図書館にお知らせください。

図書館未設置市町村では、研修会等への参加よりもインターネット等での情報収集が選択される割合が高い傾向が見られました。コロナ禍、少人数運営、移動時間などの理由から研修会への参加が難しいとの声も聞かれます。対面して直接意見交換や交流ができる場の設定とともに、オンラインも選択肢の1つとしてご提案していきたいと思えます。

また、情報収集の場として、道立図書館や各管内図書館協議会等が主催する研修会等も積極的に活用されていることがわかりました。各管内の研修会には運営相談・派遣事業として道立図書館職員がお伺いすることもあります。連携の場としてもご活用いただき、気軽にお声がけください。

2 今後実施を希望する活動支援事業の内容

【グラフ2】希望する事業内容（複数回答可） ※斜線は図書館未設置市町村の回答分

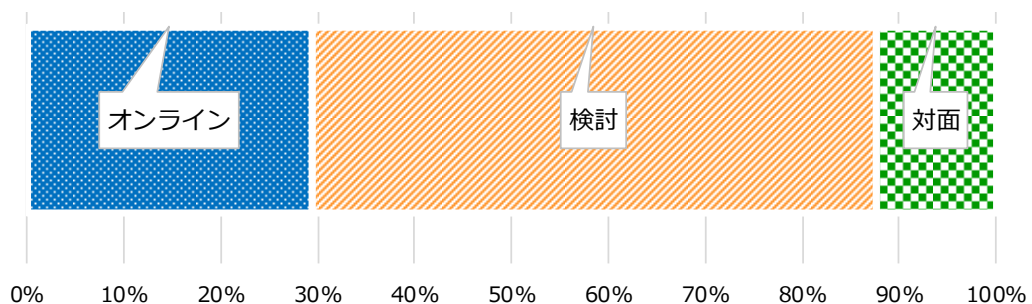


「図書館サービスや知識のスキルアップに関わること」「子ども読書の推進に関わること」に対して、最も多い希望の声をいただきました。それぞれの市町村の実情にあわせ、引き続き運営相談等を実施していきます。また、子ども読書推進の1つとして、セット貸出し（サポートボックス、事業貸出し）の改編や、ブックギャラリー（コロナ対応版ブックフェスティバル）の継続を予定しています。ぜひご活用ください。

このほかにも、今回の選択項目として設定した各テーマには、多くの市町村から「希望する」との回答が寄せられました。皆さんの関心が高いテーマとして、情報提供等ができるよう努めてまいります。

3 研修への参加方法について

【グラフ3】ハイブリッド型研修の参加方法について



対面又はオンラインの選択ができる研修会等への参加方法について回答していただきました（移動自粛の制限がない場合）。1つ1つの機会に対して「研修内容」や「場所」「日程」などを検討して判断したいという回答が約6割を占めました。多くの市町村でリモート環境が整いつつあり、「機材の確保」は大きなハードルではなくなっているようです。

運営相談・派遣事業等は道立図書館職員が市町村を訪問することを原則としており、令和3年度も感染対策を講じながら事業を継続しています。「内容によってはオンライン（が良い）」というご意見が多く聞かれた中で、対面のコミュニケーションを引き続き大切にしながら、研修等の機会を希望する声にお応えできるよう、内容や時期に対応した実施方法についても検討してまいります。

3 市町村活動支援事業へのご意見・ご要望から

多くのご意見をいただき、ありがとうございます。来年度以降の事業の参考にします。今後も、率直なご意見をお寄せください。

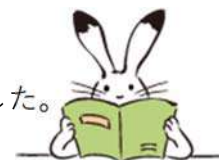
ご意見・ご要望	道立図書館から
<p>図書館運営や学校支援について、きめ細やかなアドバイスをお願いしたい。</p>	<p>運営相談や重点運営支援にお申込みいただくことで、それぞれの市町村（または地域）のご相談に、個別に対応しています。 日常的にも、「こんなことを聞いてもいいのかな…」と思わず、まずは電話やメールでお気軽にお問合せください。</p>
<p>道央まで距離が遠いので、オンライン研修の方が参加しやすいです。</p>	<p>令和 3 年度は運営相談や研修会の一部をオンラインで開催しました。 来年度も、新型コロナウイルス感染症の状況等を踏まえて、研修の内容等を勘案しながら開催方法を決定します。</p>
<p>サポートボックスが学校から好評です。 子ども読書の支援のほかに、高齢者や障がいがある方への支援（大活字本の貸出し）などもしてほしいです。</p>	<p>サポートボックスや事業貸出しのセットは、皆さんのご希望を伺いながら、毎年更新しています。令和 4 年度は新たに「縄文文化セット（仮称）」が事業貸出しに加わります。 資料の貸出しについては、協力貸出しや展示貸出し（一般資料サービス課・北方資料サービス課）や学校図書館資料貸出し（企画支援課）も併せてご活用ください。</p>
<p>研修会で学んだ郷土資料のデジタルアーカイブ。わが町の資料も公開、閲覧できるようにしたい。</p>	<p>市町村独自のアーカイブシステムがなくても、道立図書館の「北方資料デジタルライブラリー」で公開することができます。当館の北方資料室にお問合せください。 【公開館】 ※北方資料デジタルライブラリーのシステムを利用 旭川市、北見市、滝上町、湧別町、蘭越町 【横断検索参加館】 ※各市のシステムにリンク 札幌市、函館市、苫小牧市、釧路市</p>
<p>イベントや講演会等の講師について情報提供してほしい。</p>	<p>こどもの読書週間、読書週間（秋）の講師一覧については、平成 28 年から図書館ポータル及び『あけぼのつうしん』でご紹介しています。 図書館ポータル>情報共有ファイル>3お役立ちファイル等>参考情報 全道の情報を広くお知らせするためにも、各図書館（室）で開催したイベント等について、ぜひ情報をお寄せください。</p>
<p>著作権法の改正に伴う公衆送信サービスについての情報がほしい。</p>	<p>日本図書館協会や全国公共図書館協議会から提供される情報について、随時図書館ポータル（または電子メール）でお知らせしています。 図書館ポータルでは、道外の研修情報等もご案内しています。</p> <div data-bbox="1171 1778 1442 1854" style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;"> 図書館 職員専用 図書館 ポータル </div>



■ お知らせ

(1) 令和4年度(2022年度)大会・研修会等情報

令和4年度に実施予定の図書館に関する大会や研修事業を一覧にしました。
研修等参加の参考情報としてご活用ください。



(北海道図書館振興協議会主催事業は、4月22日の理事会・総会を経て決定となります。)

実施日【予定】	事業名	おもな主催機関・団体	開催地(会場)
4月22日	北海道図書館振興協議会総会	北海道図書館振興協議会	札幌市 (札幌市中央図書館)
6月 8日～9日	第62回北海道図書館大会 (第73回北日本図書館大会北海道大会)	北海道図書館連絡会議 道立図書館 北日本図書館連盟	札幌市 (札幌市教育文化会館)
7月 7日～8日	全道図書館中堅職員研修会	北海道図書館振興協議会 道立図書館	江別市 (道立図書館)
9月 8日～9日	全道図書館新任職員研修会	北海道図書館振興協議会 道立図書館	江別市 (道立図書館)
10月 6日～7日	全国図書館大会【オンライン】	日本図書館協会	群馬県 (動画配信+オンライン会議)
10月14日	全道図書館専門研修 <サービス(資料保存)>	北海道図書館振興協議会 道立図書館	深川市 (経済センター)
11月 1日～30日	図書館総合展	図書館総合展運営委員会	※4～5月に 要項発表予定
11月17日	全道図書館専門研修 <経営(関係法規)>	北海道図書館振興協議会 道立図書館	音更町 (文化センター)
11月18日	全道図書館長会議	北海道図書館振興協議会 道立図書館	札幌市 (札幌市中央図書館)
12月 8日～9日	全道図書館専門研修 <サービス(地域資料)>	北海道図書館振興協議会 道立図書館	江別市 (道立図書館)
1月13日	全道図書館専門研修 <子ども読書(学校支援)>	北海道図書館振興協議会 道立図書館	江別市 (道立図書館)
	図書館地区別(北日本)研修会	文部科学省 宮城県図書館	宮城県
	全国公共図書館研究集会 (サービス総合経営部門)	日本図書館協会	福井県
	北日本図書館連盟研究協議会	北日本図書館連盟	秋田県
	北海道学校図書館研修講座	北海道学校図書館協会	

・研修についての情報は、次のサイトもご参照ください。

■日本図書館協会 > JLA主催行事

<http://www.jla.or.jp/jlaevent/tabid/93/Default.aspx>

■国立国会図書館 > 図書館員の方へ > 図書館員の研修 ※遠隔研修など

<https://www.ndl.go.jp/jp/library/training/index.html>

・そのほか、道立図書館あてに情報提供のあった研修会等の案内については、図書館ポータルやメールでお知らせします。

(2) 2021年秋 読書週間の主な講師等一覧

「2021・第75回読書週間」開催行事の調査回答をもとに、主な講師一覧を作成しました。次年度以降の企画時にご活用ください。(敬称略)



1. 講演・講座・ワークショップ

	講師名	事業概要等	実施市町村	実施日
1	岸本 良信 (家族歴史研究家)	「家族歴史研究家・岸本良信さんの家系図を作ろう!~ファミリー・ヒストリーの調べ方~」	滝川市	11/7
		大人の図書館講座 「ファミリーヒストリーの調べ方」	新十津川町	11/14
2	オマチマン (ミュージシャン)	「オマチマン」親子コンサート	栗山町	11/3
		オマチマン・ツマチマン 「読み聞かせ・親子コンサート」	剣淵町	11/6
3	MAYA MAXX (アーティスト)	MAYA MAXX ギャラリートーク	新十津川町	11/4
4	藤田 春義 (札幌国際大学非常勤講師)	絵本の読み聞かせ講座 (全3回の連続講座)	夕張市	10/18 ~11/4
5	こぐれ けいすけ (絵本作家)	こぐれけいすけスペシャル	小樽市	11/3
6	高杉 六花 (作家)	高杉六花さんトークライブ	苫小牧市	10/31
7	山本 敏 (映像カメラマン)	文化講演会「映画の始まりとは」	登別市	11/3
8	小寺 卓矢 (写真絵本作家)	ワークショップ「手作り写真絵本を作ろう!」	様似町	10/23
		デジカメで写真絵本を作る講座	音更町	10/10
9	小路 幸也 (作家)	小路幸也講演会	函館市	10/2
10	福島 憲成 (函館大谷短期大学学長)	古典の日朗読会 講演「平安絵巻の世界を聴く源氏物語」 ●同時開催：函館朗読奉仕会 朗読会	函館市	11/1
11	佐藤 国男 (版画家)	第10回幻灯朗読会 出会いからの始まり 一宮沢賢治と山猫博士そして八雲一 対談「賢治さんと出会い、人はどう変わるか」 ●同時開催：やくも朗読サークル朗読会	八雲町	10/9
12	小林 白炎 (墨絵誌書家)	小林白炎アート体験教室	和寒町	11/3
13	有田 奈央 (絵本作家)	絵本作家・有田奈央さんおはなし会	剣淵町	10/9
14	高橋 綾子 (木工作家)	図書室まつり 大人の手づくり教室 「菓子皿をつくろう」	中川町	10/30
15	まなみん (ヨガインストラクター)	心身調整ヨガ&大人の読みきかせ	中川町	11/13
16	小笠原 豊 (飴細工師)	懐かしの紙芝居と飴細工	中札内村	10/17

	講師名	事業概要等	実施市町村	実施日
17	長谷川 義史 (絵本作家)	長谷川義史絵本ライブ	標茶町	11/26
18	ムラニシェンコ (サンドアーティスト)	しるべっとまつりステージショー サンドアート「ふたりのハルニレ」	中標津町	11/3
19	平田景・平田昌広 (絵本作家)	絵本作家特別講演会 「けいちゃん・まっさんのメオトよみ絵本ライブ」	中標津町	11/7

2. 人形劇等

	講師名	事業概要等	実施市町村	実施日
20	人形劇団ひよっこ	人形劇公演	八雲町	11/14
21	クレヨンカンパニー	人形劇「いろいろげきじょう 2021」	奥尻町	11/14
		図書室まつり 人形劇公演 「いろいろげきじょう」	中川町	10/30
		クレヨンカンパニーのいろいろげきじょう 2021	網走市	10/10
22	劇団バク	等身大人形劇「ねずみの嫁入り」	根室市	11/7

3. パフォーマンス等

	講師名	事業概要等	実施市町村	実施日
23	立花 泰彦 (ベーシスト)	朗読の時間～般若心経の世界～ ●同時開催：うらら朗読会 朗読	浦河町	11/21
24	おえかきっこみゆ (似顔絵パフォーマー)	にがおえパフォーマンスショー	八雲町	10/10
25	はなえだ (ジャグラー)	ジャグリングショー	八雲町	10/10

- ・各事業の詳細については、実施市町村へお問い合わせくださいますようお願いいたします。
- ・読書週間調査は、毎年、春と秋に各市町村にご協力いただき、北海道読書推進運動協議会事務局で集約し、公益社団法人読書推進運動協議会へ提出しているものです（今回は、主に10～11月に実施された行事を対象にしています）。



MAYA MAXX ギャラリートーク（新十津川町）



劇団バクによる等身大人形劇（根室市）

(3) 北図振・調査研究チーム始動！

令和3～4年度に取り組まれる調査研究チームの第1回会議を、昨年12月8日（水）に当館会議室で行いました。今回のテーマは「資料の共同保存と除籍に関する調査研究」で、ご協力いただく委員の構成は表のとおりです。

北海道の公立図書館として「資料をどう残すか」は、現代の切実な課題です。保存図書館としての当館のシステム化はもとより、各管内の中心となる自治体がどのように機能できるか等、多面的な視点で活動していきます。道内の相互貸借にも関わる課題ですので、各市町村の皆さんからもアンケート等で、積極的なご意見をいただきます。

ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

	氏名	所属
座長	工藤 嘉一	北海道立図書館
委員	川尻 貴子	旭川市末広図書館
	吉岡 律子	石狩市民図書館
	加藤 正之	音更町図書館
	川畑 恵美	北見市立中央図書館
	瀧川 さおり	斜里町立図書館
	一戸 泰	北海道立図書館

※ 敬称略。委員の配列は所属名の五十音順



(4) 令和4年度（2022年度）市町村活動支援事業について

● 申込方法が変わります！

NEW 道立図書館に直接申込み

すべての事業について道立図書館に直接お申し込みください。

今まで

← 申込みは教育局を通して…
事業ごとに申込先が違う…

● セット内容が変わります！

NEW サポートボックス・事業貸出し 改編

コンパクトに！ わかりやすく！

← 分量が多いと送料が…
セット名の「H」って何？

今まで



※新規セットや更新内容については随時お知らせします。





編集後記



● 町民の読書環境を整備し充実させるとの熱い思いが叶い、図書館条例に基づく新しい図書館となったニセコ町学習交流センターあそぶっく。移転を契機に10年に渡って取り組んできた行政連携や中心市街地の商店との連携などが評価され、今年度の「Library of the Year」を受賞した滝川市立図書館。

今号は、長年の活動が実を結んだ二つの図書館の嬉しいニュースについて、文章を寄せていただきました。

「なぜ、図書館になることが必要なのか」、「図書館はまちを元気にするために何ができるのか」を考え、実行してきたことに、私たち他の図書館や図書室も勇気を得るのではないかと思います。新しい図書館や受賞がそれぞれの住民に喜ばれていることも、これまでの活動が支持されてきたことの表れでしょう。

一心に歩みを進め、振り返ると、これまでの歩みを示す道ができています。大雪が降ったこの冬、雪道を歩きながら、ふと、二つの図書館が歩んだ道のりを思いました。

● 企画支援課では、みなさんの図書館（室）の活動の情報を集めています。好評だった事業、新しく始めた取組、ホームページのリニューアルや日々のエピソードなど、いつでも受け付けています。

『あけぼのつうしん』読後の感想も歓迎します。よろしくお願いします。

shienka@library.pref.hokkaido.jp



情報は
コチラまで

あけぼのつうしん No. 78

発行日 令和4年(2022年)2月2日

編集 北海道立図書館総務企画部企画支援課

発行 北海道立図書館

〒069-0834 江別市文京台東町 41 番地

TEL 011-386-8521

FAX 011-386-6906

ホームページアドレス <https://www.library.pref.hokkaido.jp/>